

経ヶ峰より長谷山を見る 亀井恒夫(昭和25年卒)

**津高同窓会報**

発行所  
津市新町3丁目1-1  
津高等学校  
同窓会事務局  
0592-28-0256  
共立印刷株式会社

# 青年の心

昭和62年度同窓パーティー記念講演会開催：2  
同窓会今昔……………3  
戦時下の津中……………3  
津高の心、抱きしめて……………4  
津高の心、抱きしめて……………4  
世界からみた日本……………7  
土と親しむ……………7  
だ同窓生は二つの橋をたどる……………8  
希望新たに山坂越えて……………8  
62年入試総括……………8

## 同窓会長 吉原一真 (昭和八年卒)



が、笑って入る。胡蝶の舞臺にの少年行は、質実剛健をモットーとした往時の中学生に胡蝶の酒肆はむむの鬼門であったとしても、同窓会時代の同窓生にとつて、白馬に銀の鞍置いて、青雲仰ぎほほえめる。勇士が夢の晴れ姿、きけや我等がこの嗚呼と校庭の桜の下で伝統の凱歌を唱う。三軍一中から津高まで百余年の歴史のどの時代の同窓生にとつても共通した美

## 学校長 林道明



の激励・示唆・教示をいただきました。津高ならではの感謝をいたしております。

まず三月には、野村胡堂ウエーデン大使が、赴任の途次本校からの請を入れて母校の生徒に、世界から見た日本」と題しての講演をいただきました。冒頭、「自由な雰囲気の中で津中において、優れたすばらしい先生方に巡り会えたのは幸いであつた」と話されたのは非常に印象的でありました。

「世界の国々からの援助を受け、敗戦のどん底からはいあがり、現今の経済的豊かさを築きあげた日本としては、国際社会において何

しい青春の一時期となつた。たにかいすんで民主化の波が澎湃と日本におしよせた。教育界にも、新しい道が敷かれ、旧制中学校、旧制高等女学校はその歴史の幕を閉じた。陳川、三重橋に学んだ同窓生は二つの橋をたどる。かけがえのない青春の橋をたどつたが、そのなかから新生津高高等校は誕生し、逞しく成長していった。

昭和四九年学校群制度の導入により、津市には普通科高校が二校に分離されるまでたつた。一つの高等学校であった、本町弘道館山口明倫館と並んで天下の三大学館といわれた有造館の遺跡をつぎ、開校してから百余年のあいたには幾多の有為な人材を世に送り出してきた。

明治の初期、いきなりとりくんだ洋学、全国的に活躍した各種のスポーツ、武道、そのパイオティの淵源を百余年の歴史と伝統というだけでは陳腐である。謙遜な大先輩も、往時を語るとき生きいきとして友を偲び、恩師を月見し青春の一時期を回顧する。

校友よ、同窓よ、いつまでも健勝であらんとせよ。

題字 千草光洞氏(昭和三年卒)

をしなければならぬかを考え、行動すべきだ」と後輩諸君に熱情をこめて語りかけて下さいました。

五月には、津高百周年記念事業の一つとして、長谷川素庵先生の句碑の除幕式が二百名をこえる人々の参列のもとに行われました。「生徒らと五月の朝の窓あけて」の句が刻まれています。

八月には、津高同窓会記念講演会が催され、秋山和平NHKアナウンサー室次長が「話しことは豊かに」、そして中根一穂東海大学医学部教授が「将来のガン治療とそれそれ願されたお話があり、聴衆に大きな感動を与えられました。

このように同窓先輩の方のご活躍こそ、津高に学ぶ者にとって、至宝の鏡であります。ますますのご健勝をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

## 老年医学雑感

国立京都病院長 三宅健夫 (昭和十八年卒)



ものであり、極めて経験の浅いものである。現在老年医学会では専門医制度の設置が計画され、厚生省も老人医療対策の具体案を検討中である。学問の場でも、行政の面でも、いづれ老人医療のあり方が明確になるであろうが、要は各個人の健康管理が基本となることには違いないことである。

わが国の主要死因として第一位が悪性新生物(がん)で、第二位が心疾患、第三位が脳血管疾患である。しかし、六五歳以上の老年者では、第一位が脳血管疾患、第二位が心疾患、第三位が悪性新生物の順となり、第四位は老衰となつてゐる。あやうには老人が、国民全体の死亡率第一位の人が最も多く、がん、脳血管障害、心疾患などの高率死と疾患をまぬがれた人が、最後に老化による全身体格のたがひが倒れるようにその寿命を終ると考えられなくもない。その際しばしば肺炎を合併する頻度は高く、老人性肺炎は死亡順位の第五位に上つてゐる。また、今後の山々しい問題であるが、痴呆性老人は現在わが国で約五九万人いると推定され、三〇年後には一八五万人になり、高齢になればなる程その数は上昇すると報告されている。身体的老人が増加するということは極めて憂べきことであり、その予防、治療、介護、専門施設の整備など、基礎的研究の推進とともに老年医学の最も重要な課題の一つである。

国民三大死因の一つであるためにも、適切な運動、栄養の摂取(特に良質蛋白質)、定期健康診断が必要である。また老人痴呆より身を守るため、Quality of lifeを充実させ、暗算の練習、指先を使う仕事をつづけることが必要であらう。

本年六月に京大教授を退官し、昨年十二月より併任していた国立京都病院長の専任となつた。

この併任期間中はかなり激務であったが、仕事に楽しい間は病氣はしないものである。今年九月で満六二歳になった。六五歳以上の人口が総人口の一〇・九%を占めるわが国の高齢化社会において、生き甲斐を保つことが何よりの健全な老後ではあるまいか。

昭和六一年度厚生省簡易生命表によれば、わが国の人口の高齢化は著実にすすみ、平均寿命として男七五・二歳、女八〇・九歳に達し、北欧のアイスランドを追い抜いて世界一の長寿国となつた。総人口に対する六五歳以上の人口の比率は、わが国では前述の通り一〇・九%であるが、スウェーデンは一七・九%、イギリスは一五・五%、フランスは一三・二%、アメリカは一三・〇%などであり、わが国は欧米諸国のようにまだ高齢社会とはいへない。しかし三〇年後にはわが国におけるこの比率は二二・三六%になると推計され、世界人類は未だかつて経験したことのない超高齢社会に、わが国も突入することになる。つまり四人に一人は六五歳以上という世の中になるといふことである。今から老年医学、老年社会学、経済学、産業問題などの準備をとのておかなければならぬ。

欧米諸国が現在の高齢社会に到達するには一〇〇年以上の歳月を要し、老年医学、老年社会学は著しく発達してきた。わが国の高齢化現象は二二〇年以内の急激な

津高同窓会 記心



私達の体の中には、最小単位であ...

私達の体の中には、最小単位であ...

私達の体の中には、最小単位であ...

私達の体の中には、最小単位であ...

私達の体の中には、最小単位であ...

私達の体の中には、最小単位であ...

私達の体の中には、最小単位であ...

私達の体の中には、最小単位であ...

昭和62年度同窓パーティー 記念講演会開催

8月1日 於・三重会館5階ホール

津高同窓会 記心



話しことばを豊かに

NHKアナウンサー 秋山和平 (昭和二十九卒)

日本人は話し好きだとよくいわ...

話しことばは、一瞬、一瞬、声...

話しことばを豊かにするには、...

話しことばを豊かにするには、...

将来のガン治療

東海大学医学部教授 中根一穂 (昭和二十九卒)

先日、世界保健機関が世界の人口...

癌細胞は増殖するので分化...

その第一は出来た癌を取り去る...

もう一つ将来の治療法として期...



骨髄移植で用いる骨髄採取...

# 同窓会今昔

## 副会長 辻嘉一

(昭和十年卒)



連日の猛暑にも拘らず、セント・パレスで行われた本年の総会は、多数の会員の参加を得て親睦のムードが全場を押し盛りあげたこと、同窓に堪えない、若い実行委員の方々の総会にかけられた熱意を多量とした。

私が同窓会に関係するようになってから、すでに久しい。その間仕えた会長は四代にも及び、役員歴としては古参だろう。この辺で

連日の猛暑にも拘らず、セント・パレスで行われた本年の総会は、多数の会員の参加を得て親睦のムードが全場を押し盛りあげたこと、同窓に堪えない、若い実行委員の方々の総会にかけられた熱意を多量とした。

私が同窓会に関係するようになってから、すでに久しい。その間仕えた会長は四代にも及び、役員歴としては古参だろう。この辺で

# 「金子安雄写真の世界展」を顧みて

## 中谷 圭秀

(昭和二十六年卒)



今年六月九日より十四日迄、三重県立美術館県民ギャラリーに於いて、我々の大先輩である金子安雄氏の写真展が開催され、同時に記念写真集が出版されました。

昨年九月、津高同窓会百年レガンの

何と金子氏は昭和の初期から写真撮影を始められ、今日迄に写された写真の枚数は数万枚余に及んでいるはずで、その中から今回の写真展の作品を選ばれたのは大変な事なるだろうと思われました。

写真集を出版することがこれ程大変な事では、私共後人には、考えられないことでした。

まず世話人会を充足させ、代表

ま、ここに阿部善衛氏(昭四卒)を招きだして陳川昭和会が発足することになった。昭三・一・二五に会則の制定、基本作りのため、独自のネクタイを作成販売、会報発行等、若いエネルギーを発散させ親睦の実をあげてきた。

一方、津高同窓会は、二十八年夏に結成されたが、将来、機が熟せば陳川と合併してもいいとの含みで誕生した。

たまたま昭和三五が津中八〇周年、三重八〇周年、津高十三年を迎える年であるので、この際三者の合併が最も望ましいとの意見が醸成、慎重に審議された結果、昭和会が産後役となって幹事の労をとり、いろいろ曲折はあったが、阿部会が決定、三五年八月、歴史的な大団結が実現することとなり、盛大な結成大会を開き、ここに津高同窓会として新発足することになり、初代会長に藤田広(故人大卒)副会長に阿



長谷山実習地での集団農作業

先日、津中時代の思い出をとお話をいただいた。四〇数年前の当時の思い出を、いよよい六月九日、県民ギャラリーにて写真展の初日を迎えました。しかし写真集の発行のお申込みが締切を過ぎても千定数をオーバーして終了せず、最後は「賛助のお断り」を申し上げました。そんな中で私は会計をお引き受ける事になりました。賛助金を頂いて写真集を出版する等という事は過去にはなかった事で、写真界の方々の批判もいただきました。

しかし四月に入り世話人会の皆様が懸命な努力と、それに金子氏ご自身のお人柄により、日本中から続々と賛助金のお申し込みが頂かれました。

又その間に写真展の準備は、担当者の大変な努力で着々と進み、昭和十年の「地下鉄工事」モノクロ写真から昭和二十二年のカラー写真一人一人までの二九二点の作品を選び、又その中から五二点の作品を選び、立派な写真集が見事に集

約完成し、いよいよ六月九日、県民ギャラリーにて写真展の初日を迎えました。しかし写真集の発行のお申込みが締切を過ぎても千定数をオーバーして終了せず、最後は「賛助のお断り」を申し上げました。そんな中で私は会計をお引き受ける事になりました。賛助金を頂いて写真集を出版する等という事は過去にはなかった事で、写真界の方々の批判もいただきました。

しかし四月に入り世話人会の皆様が懸命な努力と、それに金子氏ご自身のお人柄により、日本中から続々と賛助金のお申し込みが頂かれました。

又その間に写真展の準備は、担当者の大変な努力で着々と進み、昭和十年の「地下鉄工事」モノクロ写真から昭和二十二年のカラー写真一人一人までの二九二点の作品を選び、又その中から五二点の作品を選び、立派な写真集が見事に集

三万名の大世帯である。会員の募金総額も七千万円を突破、百年誌「あゝ母校」、同窓会会報の発行等々、母校の発展というべきだろう。

また、昨年はボーイ百年記念事業(クラブハウスのそれに伴う募金総額も七千万円を突破、百年誌「あゝ母校」、同窓会会報の発行等々、母校の発展というべきだろう。

また、昨年はボーイ百年記念事業(クラブハウスのそれに伴う募金総額も七千万円を突破、百年誌「あゝ母校」、同窓会会報の発行等々、母校の発展というべきだろう。

# 戦時下の津中

## 田中 功

(昭和十九年卒)

先日、津中時代の思い出をとお話をいただいた。四〇数年前の当時の思い出を、いよよい六月九日、県民ギャラリーにて写真展の初日を迎えました。しかし写真集の発行のお申込みが締切を過ぎても千定数をオーバーして終了せず、最後は「賛助のお断り」を申し上げました。そんな中で私は会計をお引き受ける事になりました。賛助金を頂いて写真集を出版する等という事は過去にはなかった事で、写真界の方々の批判もいただきました。

しかし四月に入り世話人会の皆様が懸命な努力と、それに金子氏ご自身のお人柄により、日本中から続々と賛助金のお申し込みが頂かれました。

又その間に写真展の準備は、担当者の大変な努力で着々と進み、昭和十年の「地下鉄工事」モノクロ写真から昭和二十二年のカラー写真一人一人までの二九二点の作品を選び、又その中から五二点の作品を選び、立派な写真集が見事に集

念願(クラブハウスのそれに伴う募金総額も七千万円を突破、百年誌「あゝ母校」、同窓会会報の発行等々、母校の発展というべきだろう。

また、昨年はボーイ百年記念事業(クラブハウスのそれに伴う募金総額も七千万円を突破、百年誌「あゝ母校」、同窓会会報の発行等々、母校の発展というべきだろう。

また、昨年はボーイ百年記念事業(クラブハウスのそれに伴う募金総額も七千万円を突破、百年誌「あゝ母校」、同窓会会報の発行等々、母校の発展というべきだろう。



# 希望新たに山坂越えて

佐々木 かよ  
(大正十五年卒)



たすばらしい女の先生へのあがれから、父が病弱、弟が多いう家庭事情の中、母の理解努力で昭和二年三月は女子師範を卒業して教職につきました。夢をくまらせての出発でしたが、現実はいきびしく、子守りのため欠席する子、小学六年の義務教育すら途中でやめ、名古屋方面へ暮らに出る子、衛生状態が悪くトラブームに罹る子等いろいろ問題がありました。一人ひとりを見つめ心配して、「学校教育だけではとてもこの子等を幸せにすることはできない。家庭の生活や社会が変らなければ」ということを信じてきました。そしていかにかながらも家庭教育や社会教育に関心を待つようになり、休日や夜間に家庭訪問したり、地区集会所、出かけて両親や区長さんと話したりたものであります。そして現在も同窓会や社会教育にかかわっています。戦争が始まると教育面でもいろいろ疑問に思うことが多くなりました。末期になると高等二年を担任、授業は週一回、あとは軍需工場へ学徒動員で作業です。空襲警報が鳴ると生徒と共に逃げまわい、遂には一人の生徒が機械で指先を落すという悲しい事故もありました。

## 三重桜同窓会総会

今村 房  
(大正十二年卒)

今年四月十九日榎原の新装なつた清少納言で三重桜総会を開催しました。会員の高齢化により出席者が少なくなるのではないかと心配したのですが、百三十余名の出席が実現しました。お祝いの挨拶をされたのは、幹事一岡大喜びで、奥山美登子さんのお世話で、十九日前から毎年クラスの人達から集めた原稿をまとめ、立派なクラス誌の友を出しておられます。今迄は松の色に因み緑色の表紙でしたが、今年も選定記念して赤い表紙で第十九号を出された事を皆様に紹介しました。老人組は昔のきびしかった清水校長先生の良妻賢母型の教育を受けた思い出、中年は張り気と品の果立だと思いをいかにせよ上から叫ばれた高知先生の思い出、若い人達は男女共学で目を回すような新しき高校生活と時代時代の思い出話がお話されました。食後は、あちこちでクラスごとにまとまっての撮影、私はどのグループにも入

## 三重桜名古屋同窓会

八木 貴恵  
(昭和十三年卒)

さる五月二七日、恒例の、三重桜名古屋支部同窓会を、名古屋市内

伏見の名古屋観光ホテルで開催いたしました。心配されたお天気も、どうはかぬもいらすにすみ一同、日頃の心掛けに感謝した次第でございます。

今回は遠路、今村房先生のお出まをいただき、先生と同期の大正十一年卒業の方を最高齢に、総勢二十人もお集まりいただき、大変に盛況でございます。

私たちがあこがれた今村先生は、昔と少しお変わりなく、モチでおしよれな雰囲気そのままに、今もなお、かくしゃくとして活躍の様子を見せ、私も、あかあかお集まりいただき、想いをくわいました。

はるかに木曾の御話を望む、ホ

## 三重桜東京支部同窓会報告

天野 清子  
(昭和十三年卒)



九月二六日、国会議事堂に程近い永田町の海運ビルで開催されました。台風の余波もおさまりました。台風の余波もおさまりました。台風の余波もおさまりました。

本年は、津高桜より林校長がご出席下さり、昨年の吉原会長がつぎまして誠に光栄な事と存じました。今村先生は、毎年、万障繰り合せて出席頂戴、かくし、豆とメロンについて、今村先生に無理にお願いして舞踏を披露して頂きました。「夫婦船」「秋のついで」に一回限り披露を覚えたい。

食事は、海運クラブの名シェフ(伴安恵様の台意)のお心づくしの松花菜弁当。特別サービスの密豆とメロンのデザート。食事の後、自己紹介について、今村先生に無理にお願いして舞踏を披露して頂きました。「夫婦船」「秋のついで」に一回限り披露を覚えたい。

今年もまたさわやかな秋が巡ってきました。思えば昨秋の叙勲に際し、はからずも勲五等瑞宝章を賜り、紅葉に映える肩章を明瞭において天皇陛下御臨幸の栄に浴して参りました。

昭和六一年は、天皇御即位六〇年というまことに輝いた年であり私は喜寿を迎えました。ことごとその喜びと感激はひとしおでございます。学校教育、社会教育、幼児教育に携わること六〇年、多くの方々の指導・お情けを得、不敏ながら過つて参りましたが、できたことを思い、全く感激の外ありません。

先日編集委員会より「何か感想を」との要請がありましたので、女教師としてまた家庭人として幾山坂越えて来た長い歩みを顧みて心に残る二、三を記してみたいと思ひます。

小学校の頃受け持っていた、

## 63年度 三重桜総会案内

とき 昭和63年4月17日(日)  
ところ 津商工会議所  
(津市丸之内)  
備考 会費、日程等詳細については、後日学年幹事を通して連絡いたします。



三重桜総会・山路きよ氏撮影(昭和11年卒)

来し方四十余年

名古屋女子大学教授 青木 みか

(昭和十六・二十四年卒)



千人針を作成したり、出征軍人の遺族の慰問を手伝って、稲刈りや養蚕に幾度も過した。久居まで行進し、実弾射撃の訓練を受けたのは吹雪が頬をうつ晴寒の日であった。...

「源遠く出て来たる 古き流れのこぼれに 又新しき流れれずす...」は校歌の一節であるが、昭和十六年に津高女を卒業し、二三年、津高三年に編入卒業し、私は「古き流れ」を生きて、さらに津中と津高女、合流の時点にも遭遇する。...

大正洋戦争は、卒業した年の暮に勃発した。「討ちてしまんのかげり」と、一億の国民は、すべてを犠牲にして戦ったが、二十年八月、敗戦によって終了した。...

久居の校舎は床板がトイレの扉の一部も破壊されていたが、大きな旧棟舎には雑草が萌え、光り輝く五月の空の下、若人は自由と平和を心行くばかり謳歌する。...

その後、農芸化学系に進学したが、昭和二十一年、名古屋女子大学に赴任し、現在に至っている。...

人間は一人だけでは生きていけない。お互いに助け合って生活をさせていかなければならない。そのよき感謝の気持ちを大切にしたいと思っております。...

私達が校庭で昼食を弁当を食べながら食べているとき、政治の季節であり、高校生もいやおうなく政治的激動に関心を寄せた。...

病床の身になられても頭脳と意欲は衰えず、それについていた体ががえって先生を奇立させていたが、今もなお、今もなお、今もなお、先生死して津高史の一時代が終わった気がしてならない。...

同窓会副会長就任にあたって

竹林 武一

(昭和三十七年卒)



同窓会の皆様には益々ご健勝にて各々の分野で活躍の事と存じます。卒業以来月日の経つのは速いもので、もう既に二十五年の歳月が夢の如く経過致しました。...

同窓会副会長という大任に推挙いただきましたが、私自身は漢字非才者であり、ただ津高を卒業した事だけが誇りである者が、この大任をお引受けして良いのか色上げます。...

人間は一人だけでは生きていけない。お互いに助け合って生活をさせていかなければならない。そのよき感謝の気持ちを大切にしたいと思っております。...

私達が校庭で昼食を弁当を食べながら食べているとき、政治の季節であり、高校生もいやおうなく政治的激動に関心を寄せた。...

病床の身になられても頭脳と意欲は衰えず、それについていた体ががえって先生を奇立させていたが、今もなお、今もなお、今もなお、先生死して津高史の一時代が終わった気がしてならない。...

メモワール・故若林実先生

名古屋大学法学部教授 森 英 樹

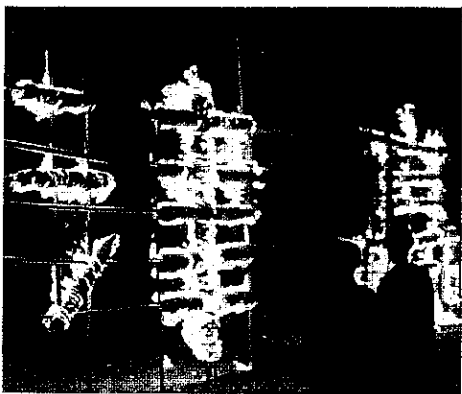
(昭和三十六年卒)



外国出張の直前に同窓会報への寄稿を依頼された。何を書こうかと異郷の地で思索して思い起した。...

一九五八年入学の私達にとつて若林実という人物は、三年間わたって数学を担当した一教師というにとどまらない。...

もう八年前になるが、私が西独に留学中、先生は定年後の旅に欧州を遊んでやつてられ、ウィーンでお会いした。...



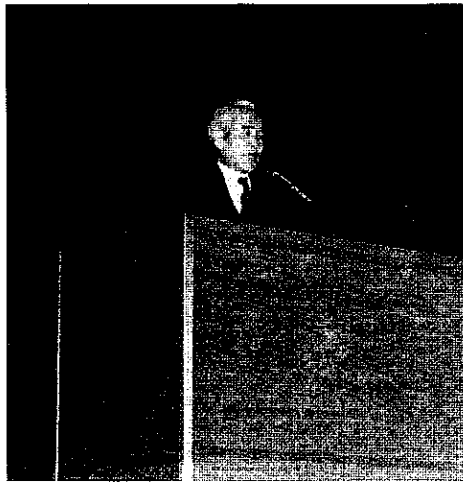
食物と血循環や動脈硬化の関係を論べているが、ラットの飼育が卒業専攻生の手を借りる場合が多い。彼女たちはかかしく、糞尿の採取や解剖、血液の分析を実行している。...

スウェーデン大使野村 豊(昭和十八年卒)

「世界からみた日本」

講演より

私はこの津高等学校の前身である津南中学校で、昭和十三年から十八年まで学びました。後輩に当



る皆様にお会いできて大変嬉しく思っています。 これまで三十八年間 外務省に勤

土と親しむ

日本工芸会正会員 高山 光 (昭和三十三年卒)



津高を卒業してから、二六年たりに、とんとんと変ってゆく部分と

人は歳を重ねるごとに、それなりにとんとんと変ってゆく部分と

自分創っているもの、良いもの、創ってあるもの、創りつづけるもの、創りつづけるもの、創りつづけるもの



た。そこで、私は国際的な正義平和というものになんか役に立ちたいと昭和三十三年に外務省に入

た。そこで、私は国際的な正義平和というものになんか役に立ちたいと昭和三十三年に外務省に入

た。そこで、私は国際的な正義平和というものになんか役に立ちたいと昭和三十三年に外務省に入

た。そこで、私は国際的な正義平和というものになんか役に立ちたいと昭和三十三年に外務省に入

津高漕艇百周年記念事業を終えて

津高漕艇百周年記念事業実行委員会 委員長 木下 寿 (昭和七年卒)

同窓会のみなさんのあたたかいご理解と援助によりまして、実行委員会が計画をいたしました漕艇百周年記念の諸行事も無事成

津高漕艇百周年記念事業概要

- 1. 競漕艇寄贈 (5艇) シェルフォア (5人乗) 1艇 ナックルフォア (5人乗) 2艇 ダブルスカル (2人乗) 1艇 シングルスカル (1人乗) 1艇
2. 記念レガッタ 1986年9月28日 岩田川 愛知一中旭丘漕友会と定期戦 写真コンテスト・黒鯛の稚魚放流
3. 記念式典 1986年11月3日 写真展 津センターパレス
4. 記念誌刊行 「見よ蒼溟につづきたる」
5. 長谷川素逝句碑建立 1987年5月24日 「生徒らと五月の朝の窓あけて」 句抄 「いま、長谷川素逝」を刊行

お知らせ

昭和六三年度 同窓パーティー

とき 昭和63年8月6日(土)

じかん 午後三時より

ところ 津センターパレス(三重会館前)

62年度同窓パーティー報告

竹内利則

(昭和四一年卒)

今年の同窓会パーティーは、八月一日(土)に津の中心にあるセンターパレスの五階ホールで、午後三時より盛大に行なわれました。...



京都同窓会報告

富島利男

(昭和二〇年卒)

十一月一日、あいにくのお天気でしたが、いつもの京都下鴨森本町の生研会館に、京都府鉄鋼社長 岩田次男会長以下二〇数名が集つて...



62年度入試総括と

来春の入試について

進路指導主任 出口 健 正

国立大学の六十二年(六十二年三月卒)の入試改革は、社会的にもさまざまな話題を提供し、問題点も残して終了しました。...

は経済・商学に人気が集まり、総じて「文高理低」に終りました。本校の場合、国立大(二百三十二名の合格者を出しました。...

大阪同窓会に参加して

鳥羽 登

(昭和二九年卒)

立寄られた十一月八日、いつもの阪神百貨店十一階で第二回大阪同窓会が開催された。...

最後に本校の過去三ヶ年の進学状況をあげておきますのでご覧下さい。

(大学合格者数)

Table showing university admission numbers for 62, 61, and 60 years across various categories like National, Public, Private, and Short-term.

(主要大学合格者数)

Table showing admission numbers for major universities like Keio, Waseda, and others for 62, 61, and 60 years.

事務局だより

昭和六十五年は創立百十周年に当りますと共に、津高同窓会大団結三〇周年に当たります。...

海外に在住(在勤)留学の方々に同窓会報を送らうと思っております。住所や勤務先、留学先等をお知らせ下さい。...